

**製品名: BDNF ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86252**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:15 kDa; Observed MW:Precursor 28 kDa - Mature 14 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BDNF
別名	ANON2; BULN2
遺伝子ID	627, 12064, 24225
SwissProt ID	P23560, P21237, P23363
免疫原	ヒト BDNF の合成ペプチド

**背景**

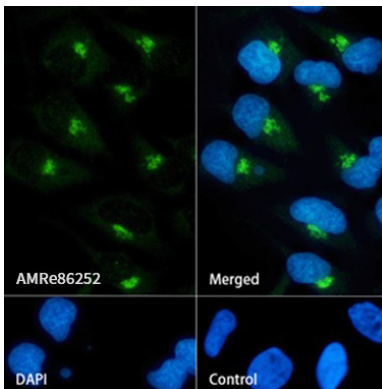
この遺伝子は神経成長因子ファミリーに属するタンパク質をコードしています。選択的スプライシングによって複数の転写産物バリ

アントが生じ、そのうち少なくとも1つはプレプロタンパク質をコードしており、これがタンパク質分解によって成熟タンパク質へと変換されます。このタンパク質が同族受容体に結合することで、成人脳におけるニューロンの生存が促進されます。アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン病の患者では、この遺伝子の発現が低下しています。この遺伝子は、ストレス反応の調節や気分障害の生物学的側面において役割を果たしている可能性があります。[RefSeq 提供、2015年11月]

## 研究分野

-

## 画像データ



BDNF ウサギモノクローナル抗体を使用して BDNF を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。